

特集

第11回 研究・実践成果発表会

○発表会の概要

第11回目となる今回は、第1部「事業報告」として、事業団の各施設・事業所で実践している取組みを報告し、第2部「研究・実践成果発表」として、事前に選考された4編の論文発表を行いました。

今年度は、当事業団職員・役員、行政関係者及び関連企業、その他関係団体等、事業団内外から332名の参加者を迎え、平成30年11月15日(木)に福岡市市民福祉プラザにおいて開催しました。

各論文の発表の後には、活発な質疑応答も行われ、有意義な発表会となりました。

○選考方法

提出された全18編の論文の中から、事前に実施した論文審査により、「優秀賞」として4編を選考しました(選ばれた4編は、第2部の発表論文としていきます)。

さらに、当日の審査員の方々の発表審査も加味し、その4編のなかから、「最優秀賞」及び「外部審査員特別賞」を各1編選考し、表彰しました。論文・受賞者一覧は、9頁をご覧ください。

○発表会の目的

当事業団では、福祉情報の発信の場として、当事業団の各施設が行う研究や取組みの成果、今後取組むべき課題などの発表を行う「研究・実践成果発表会」を開催しています。

また、各施設での取組みや課題等に関する各種情報を共有することで職員の専門性の向上を図るとともに、事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開へと結びつけることも大きな目的としています。

このように、対外的に情報を発信し、関係機関の方々に事業団の取組みを知っていただくことで、福岡市の障がい福祉推進に事業団をご活用いただければと考えています。



第1部 事業報告

第1部「事業報告」の目的は、主に「関係機関等に対する福祉情報の発信」と「事業団の事業内容のアピール」を行うことです。今年度は、「強度行動障がい者の支援と移行型グループホーム事業」と、「障がい者雇用サポートデスク等の企業支援」、「肢体不自由児への学齢期支援について」の3件の報告を行いました。うち2件につきまして、2~5頁にて詳細を掲載していますので、ご覧ください。



第2部 研究・実践成果発表

第2部「研究・実践成果発表」の目的は、主に「福祉分野に関する各種情報の相互発信による専門性の向上」と「事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開に結びつける」ことです。発表された4編の論文のうち1編は、6~7頁にて詳細を掲載していますので、ご覧ください。